

黒滝村総合計画審議会 令和4年度第1回会議 会議録（議事要旨）

日 時	令和4年8月25日（木） 10:00～11:15
場 所	黒滝村役場 2階会議室
出席委員	阪中隆一委員、脇阪武男委員、吉田昌史委員、岡山正博委員、 中井龍彦委員、亀井隆平委員、近藤美智雄委員、阪口孝子委員、 辻本準委員（代理 吉田温紀）計9名 欠席 大和里美委員、森本重朝委員 2名
事務局	辻村源四郎 村長、辰己洋昭 企画政策課長、 上中久利 企画政策課課長補佐、浦南辰浩 企画政策課係長
次 第	1. 開会 2. 村長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 案 件 ①黒滝村総合計画（令和3年度進捗分）の効果検証について ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果 検証（令和2～3年度進捗分）について

黒滝村総合計画審議会 第1回 会議録（議事要旨）

・村長あいさつ

辻村村長：（省略）

・会長あいさつ

阪中会長：（省略）

・議事録署名人選出

脇阪武男委員と近藤美智雄委員を選出。

・案件①黒滝村総合計画（令和3年度進捗分）の効果検証について

事務局：（「別紙⑤効果検証質疑回答票」の資料を中心に説明。）

亀井委員：「1-1-1-③へき地巡回診療の年間利用回数」について、自己評価Cとなっているが、派遣主体の南奈良総合医療センターが中止を決定しているのであれば、村としては「未評価」でもよいのではないか、という意味で質問している。評価Cだと後々の事業評価としてよくない。

事務局：ご指摘のとおりであるが、評価の方法としては実績がどうかという基準のため、C評価になっている。

阪口委員：明確な理由があるのであれば、理由を付けてC評価でもいいと思うが、次の「1-2-1-③連携会議の開催」の質問回答の「コロナワクチン接種事業のため業務過多」は、言い訳であり理由にならない。「仕事が忙しくてできなかった」と一緒に、そうではなく「コロナ禍のため会議ができなかった」ではないか。

事務局：ご指摘のとおり、修正について担当課と調整する。

阪口委員：「2-7-1-①防災Wi-Fi設置数」についても、「現行システムの保守経費が高額」は、言い訳であり理由にならない。有事の際に災害から住民を守るものを、「お金がかかるからできません」ではなく、別に災害をカバーするものがあって、置き換わっていくのであれば納得できるが、「検討します」では不安が残る。

「1-5-1-③自立支援給付事業」について、岡山委員が「移行の意味が分かりません」と意見されている件について、この回答でよいのか。国等の指針で「病院や施設中心の支援から地域での支援に移行していきましょう」ということが書かれていることを、そのまま回答にしていると思うが、岡山委員が「表現が分かりにくいですよ」と意見している事に対しての、回答や修正にはなっていない。「移行」という言葉が、行政では分かっても住民には分かりにくい。

事務局：「移行」の表現について検討調整する。「住み慣れた地域に戻って」や「地域での生活を中心として」など法の趣旨に沿って、分かりやすい表現で修正する。

岡山委員：少し説明が抜け落ちていたことや違和感のある表現である。

亀井委員：「2-6-1-③高齢者の交通手段の確保」について、表の構成が違うという事だが。再度、説明を求める。

事務局：効果検証シートの左側が旧の総合戦略、右側が旧の総合計画実施計画を、総合計画の項目ごとに合成している。シートの左側の項目と右側の項目が合致していない状況で、公共交通という施策に当てはまる事業を順番に記載している。

亀井委員：「高齢者の交通手段の確保」が「地域公共交通確保維持負担金」ではなく、上の「通院タクシー利用料助成事業」で、「バスの総合的な運行」が「地域公共交通確保維持負担金」ではないか。

事務局：ご指摘のとおり。表及び回答を修正する。

岡山委員：「5-19-1-②民俗資料館来館者数」で、「誘客を検討します」とあるが、「検討」では半ば諦めていると捉える。無難な回答をしたいという気持ちもわかるが、消極的に聞こえてしまう。他市町村の例を勉強するなど、他に方法はないのか。

事務局：ご指摘のとおり。先日、村の文化財保護審議会があり、同じ議案の中で、民俗資料館の特別展について、委員の方からご意見やご提案をいただいている。具体的には、県の民俗博物館の林業に関する展示パネルの借用や、映像の展示、昔の写真を募集し展示するなど、特別展がそれ程難しくなくできるということを提案していただき、今後検討を進めていく。施設のリニューアルは半年から1年近くかかり、その後のリニューアルオープンに間に合うよう展示の企画を進める。

・案件②新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金事業（令和2～3年度進捗分）の効果検証について

事務局：（内閣府からの調査報告書及び効果検証シートの概要を中心に説明。）

亀井委員：この交付金の実績報告はいつになるか。国から何か指摘は出ていないのか。

事務局：令和2年度、3年度ともに実績報告を行い、国から交付確定をいただいている。特に指摘事項はない。

亀井委員：会計検査はこれからということか。

岡山委員：事業実績報告を行なったということだが、このお金をこの事業でこういうところに使いましたよ、ということ国に承認をいただいているということか。中身を見ていると、感染症対策ということだが、派生して経済対策とか、交付金を利用した事業というか、具体的には図書室パワーアップ事業とか、コロナ対策の事業として通るのか。村の一般財源が減っているのに、交付金を利用していろいろやっていかななくてはならないことは分かるが。

事務局：今のところ指摘事項等問題はありません。

（その他事項、特になしのため、閉会）